

平成 25 年度及び平成 26 年度 達古武地域エゾシカ試験捕獲 実施結果概要

1. 概要

本資料では、平成 25 年度及び平成 26 年度に実施された「釧路湿原国立公園エゾシカ捕獲手法検討調査業務」における実施内容及び捕獲結果の概要を示す。

2. 平成 25 年度の概要

(1) 平成 25 年度に検討した捕獲手法

平成 25 年度は、「大型囲いわな」「くくりわな」「忍び猟式 SS」の 3 種類の捕獲を試行した。それぞれの捕獲手法の実施場所を、図 1 に示す。

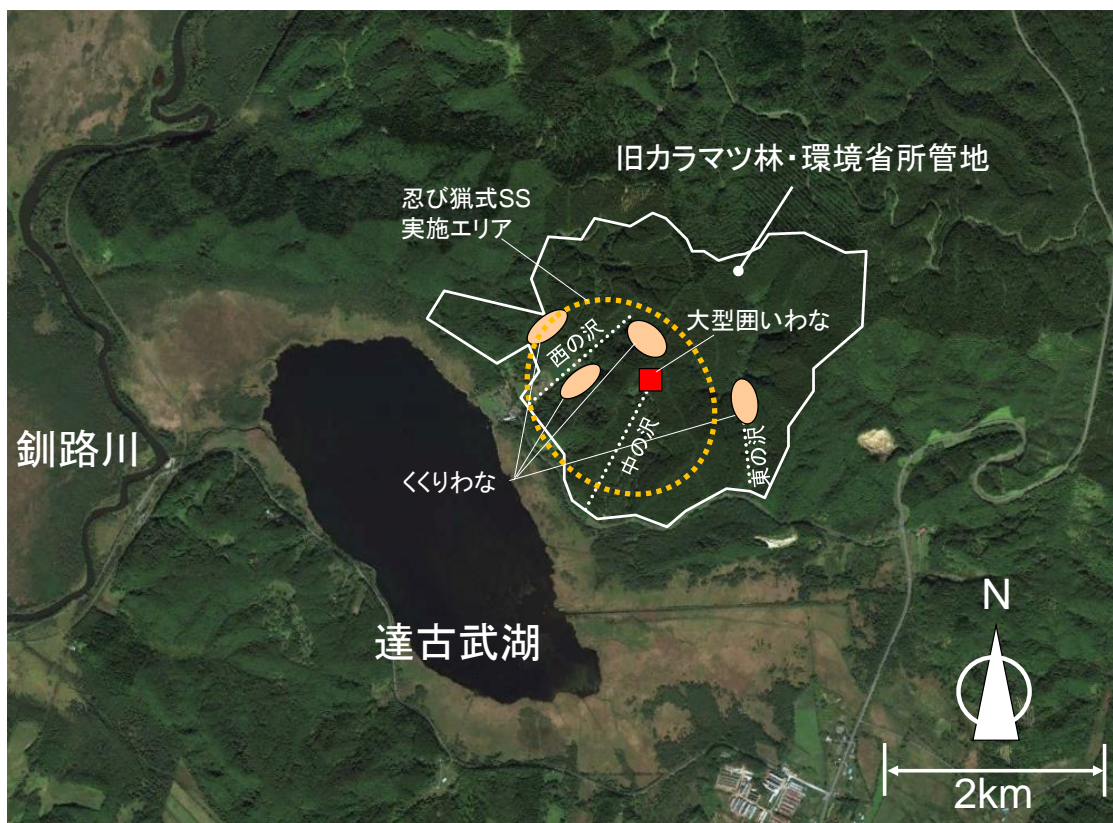


図 1 平成 25 年度の捕獲手法と実施場所

大型囲いわなは、「中の沢」において 1 月中旬より実施した。また、くくりわなは「東の沢」、「中の沢」、「西の沢」及び「中の沢上部の尾根付近」で、2 月上旬実施し

た。また、忍び猟式 SS については、図中黄色点線で示す「中の沢」から「西の沢」の範囲で 3 月下旬に実施した。

(2) 平成 25 年度の結果概要

平成 25 年度の捕獲では、大型囲いわなで 49 頭、くくりわなで 7 頭、忍び猟式 SS (銃器) にて 3 頭を捕獲した (表 1)。

表 1 平成 25 年度の捕獲結果一覧

<大型囲いわな> わな設置期間 68日間					処理の内訳		
					GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
捕獲日	オス成獣	メス成獣	仔	合計			
1月29日		7	7	14			14
2月12日		1	1	2	1	1	
2月14日		2	2	4	1		3
2月26日		1	1	2			2
3月4日		4	4	8			8
3月20日		3	5	8			8
3月24日		3	3	6			6
3月26日		2	3	5			5
小計	0	23	26	49	2	1	46

<くくりわな> わな設置期間 340ワナ・日					処理の内訳		
					GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
捕獲日	オス成獣	メス成獣	仔	合計			
2月13日			1				1
2月21日			1				1
2月27日		1					1
3月4日		1					1
3月5日		1					1
3月7日		1					1
3月18日			1				1
小計	0	4	3	7	0	0	7

<忍び猟式SS> 実施期間 2日間					処理の内訳		
					GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
捕獲日	オス成獣	メス成獣	仔	合計			
		2	1				3
小計	0	2	1	3	0	0	3

	オス成獣	メス成獣	仔(当歳)	合計	GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
合計	0	29	30	59	2	1	56

(3) 平成 25 年度の捕獲に対する考察

- ・ 達古武地域のような越冬地で、周辺のシカ密度が高い場所では大型囲いわなは有効である。
- ・ 銃器を用いた捕獲は、安全対策や周辺住民、公園利用者との合意形成等にかかる労力が大きく、達古武地域のように一般利用者が多い個所では不向きと思われた。
- ・ 足くくりわなはある程度有効であるが、タンチョウ等の希少種への配慮が必要であった。

3. 平成 26 年度の概要

(1) 平成 26 年度に検討した捕獲手法

平成 26 年度は、「大型囲いわな」「小型囲いわな」「くくりわな」の 3 種類の捕獲を試行した。それぞれの捕獲手法の実施場所を、図 2 に示す。また、小型囲いわなについて、図 3 に示す。

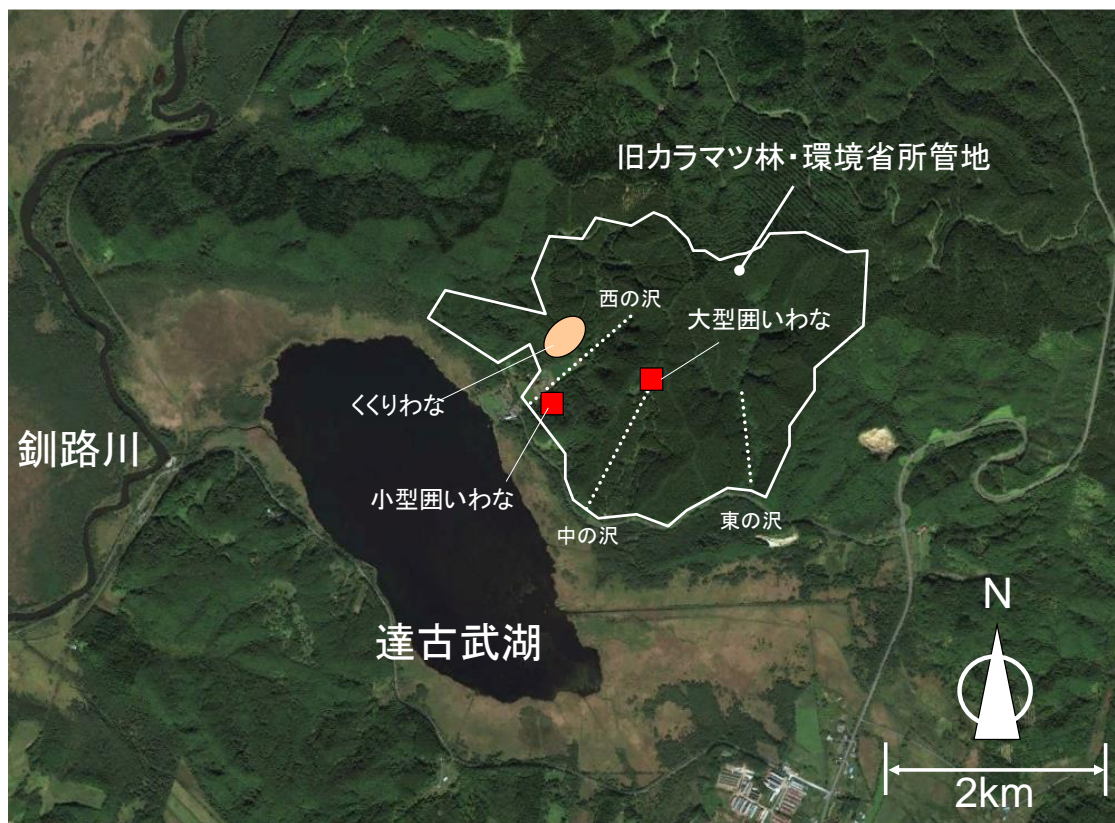


図 2 平成 25 年度の捕獲手法と実施場所



図3 本業務で改良した小型囲いわな（原型は「サークルD」）

大型囲いわなについては、平成25年度と同じ中の沢の上部にて1月中旬から実施した。小型囲いわなは2月上旬に西の沢の麓に設置した。さらにくくりわなは2月下旬から実施した。

（2）平成26年度の結果概要

平成26年度の捕獲では、大型囲いわなで59頭、小型囲いわなで7頭、くくりわなで10頭を捕獲し、合計は76頭となった。また、これとは別に、麻酔銃によるフリーレンジ捕獲で4棟を捕獲したため、合計で80頭を捕獲した。

表2 平成26年度の捕獲結果一覧

<大型囲いわな> わな設置期間 69日間					処理の内訳		
					GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
捕獲日	オス成獣	メス成獣	仔(当歳)	合計			
2月4日			4	4		4	
2月10日	1	4	7	12	2	1	9
2月12日		4	2	6	1		5
2月16日		4	5	9	2		7
2月27日		1		1	1		
3月9日		3	5	8			8
3月17日		1	7	8			8
3月19日		3	3	6			6
3月24日		1	4	5			5
小計	1	21	37	59	6	5	48

<小型囲いわな> わな設置期間 13日間					処理の内訳		
					GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
捕獲日	オス成獣	メス成獣	仔(当歳)	合計			
2月18日		1	1	2			2
3月12日			1	1			1
3月16日			1	1			1
3月19日		1	2	3			3
小計	0	2	5	7	0	0	7

<<くりわな> わな設置数 300わな・夜					処理の内訳		
					GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
捕獲日	オス成獣	メス成獣	仔(当歳)	合計			
2月27日		1	1	2			2
3月4日	1	1		2			2
3月5日		1		1			1
3月6日		1	1	2			2
3月12日		1		1			1
3月13日		1		1			1
3月22日		1		1			1
小計	1	7	2	10	0	0	10

	オス成獣	メス成獣	仔(当歳)	合計	GPS首輪装着	放獣GPS装着を除く	有効活用 及び一般廃棄物処理
合計	2	30	44	76	6	5	65

(3) 平成 26 年度の捕獲に対する考察

- ・ 小型囲いわなは有効な側面があるが、技術的な改良をする余地がある。
- ・ 足くくりわなは、労力が大きくかかるので、今後の達古武地域では採用しなくてもよいのではないか。
- ・ GPS 首輪のデータを見ると、「中の沢上部」よりも、「西の沢」に測位結果が集中している。こうしたことから、大型囲いわなの位置を従来の「中の沢上部」から「西の沢」に移動した方がよいのではないか（「資料 1-4」参照）。
- ・ 平成 26 年度夏に実施した達古武地域の植生調査（自然再生事業）では、平成 26 年春の立木への食害等が減少している傾向が見られた（「資料 1-3」参照）。
- ・ 知床や阿寒前田一歩園財団の捕獲実績では、同一個所で捕獲すると、徐々に捕獲効率が低下する傾向が報告されている。今後、達古武地域で捕獲を継続した場合の状況に注目すべき。